

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2023年度 パフォーマンス向上会議情報(2024年1月26日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2024年1月26日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【既設淡水化装置(RO3)の蛇腹ハウス雨漏れに伴う設備の運転不可について】 協力企業作業員が現場パトロール時に、既設淡水化装置(RO3)の蛇腹ハウスで雨漏れしていることを確認。 なお、サンプリングを実施し、設備からの漏えいではないことを確認。 雨漏れにより漏えい検知器が継続で動作したことで、設備からの漏えいか確認出来ないことから、運転不可と判断。 その後、漏えい検知器廻りの雨水を回収し、漏えい検知器の動作が停止したことから、設備の運転が可能であることを確認。 現在、残りの雨水を回収中。 今後、雨水の流入箇所を特定し、修理予定。</p>	GⅢ	1月22日
2	<p>【3号機廃棄物地下貯蔵建屋の北東水位計の不具合について】 当社運転員が、免震重要棟にて3号機廃棄物地下貯蔵建屋の北東水位計の指示が上昇後ゆっくり低下し、水位の指示が安定しないことを確認。 現場確認の結果、当該箇所に水がないことを確認したことから、当該水位計の不具合と判断。 当該水位計の他に、他の水位計で監視が可能なことから、水位監視に問題なし。 今後、当該水位計を交換予定。</p>	GⅢ	1月24日